

会 議 録

会議の名称	補助金等見直し検討部会（第12回）
開催日時	平成23年3月22日（火） （午前・ 午後 ）3時45分開会 （午前・ 午後 ）6時10分閉会
開催場所	南館10階 大会議室
出席者	<p>【外部委員】 坪内隆、杉田宗三、棟田勝子</p> <p>【検討部会員】 楚和企画財政部長、小林財政課長、小田地域教育振興課長、中村政策法務課長、山本人権・男女共生課長、上田政策企画課長、原田市民活動推進課長、廣瀬福祉政策課長、鷹取障害福祉課長、田川高齢福祉課長、長澤商工労政課長、大神農林課参事(代理)、島本環境政策課長、辻都市政策課長、井上まちづくり支援課長、岸田道路交通課参事(代理)、島村市民学習課長、増田青少年課長、福田スポーツ振興課長、萩原消防総務課長</p> <p>【作業部会員】 北川障害福祉課長代理、下園政策企画課長代理、秋元財政課長代理、中尾政策法務課係長、多田人権・男女共生課係長、青木市民活動推進課主幹、井路端高齢福祉課長代理、平林こども政策課係長、香川商工労政課参事(代理)、内田農林課係長、井澤環境政策課主査、岡田都市政策課係長、上田学校教育推進課係長、池田地域教育振興課参事、加藤市民学習課係長、小島青少年課長代理、有福スポーツ振興課長代理、中井消防本部総務課長代理、足立財政課主査、野村議会事務局総務課主幹</p>
欠席者	辻田素子、染川こども政策課長、小濱農林課長(代理出席者あり)、諸岡道路交通課長(代理出席者あり)、河井教育政策課長、為乗学校教育推進課長、岩崎福祉政策課主査、徳永商工労政課長代理(代理出席者あり)、福田まちづくり支援課係長、藤田道路交通課係長、阿曾教育政策課主査
事務局職員	係長1人、係員3人
開催形態	公開（傍聴者1人）
議題(案件)	(1) 補助金制度の概要と見直しの進め方について
配布資料	(1) 補助金・交付金見直し作業における概要 (2) 補助金・交付金項目一覧表 (3) 補助要綱例＜参考資料＞

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>議 長 (企画財政部 長〔以下省略〕)</p>	<p>前回の会議で、市の補助金にはどのようなものがあり、それぞれどのような目的を持っているのか、という質問を外部委員からいただいた。これを受けて、作業部会で市の補助金の内容・目的等を整理したので、その内容を報告する。</p> <p>なお、今回の会議は、各補助金の公平性・公益性等を判定するのではなく、各補助金の内容について共通の理解を持っていただくという趣旨であり、これによって次回以降の見直し作業につなげたいと考えている。</p> <p>【議題1 補助金制度の概要と見直しの進め方について】</p> <p>1 見直しの方向性</p>
<p>作業部会員</p>	<p>公平性・公益性の観点から、特定団体へ支出している補助金・交付金を見直す。具体的な作業としては、「団体補助金の見直し」と「公募型補助制度の創設」を行う。</p> <p>2 補助金・交付金の内容</p> <p>各所属に照会を行い、市の補助金・交付金の内容をまとめた。その結果が資料2「補助金・交付金項目一覧表」である。</p> <p>全部で184項目の補助金・交付金があり、計26億5,800万円を支出しているという結果が出た。</p> <p style="text-align: center;">= 担当部局の作業部会員から各補助金・交付金の内容について説明 = (資料2に沿って説明)</p>
<p>議 長</p>	<p>ただいまの説明内容について、分かりにくい点や質問があればどうぞ。</p>
<p>外部委員</p>	<p>資料2中「4 茨木市人権センター事業補助金」については、戦後から取り組んできたものと思われるが、人権問題が解消すれば、それに伴って予算を減らしていても良いと思うが、どのように判断するのか。</p>
<p>検討部会員</p>	<p>人権問題の解決に向けた効果を測定するのは難しいが、繰り返し啓発に取り組むことが重要であり、そのために人権センターの力を借りて、協働して取り組んでいる。</p> <p>補助額は毎年見直しをしており、少しずつ金額は下がっている。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部委員	補助金・交付金の中には、国の基準があるものや、市が独自に交付するものなどがあると思うが、補助金と交付金で性質に違いがあるのか。
作業部会員	<p>補助金と交付金の厳密な区別は難しい。</p> <p>両者とも、国が定めるものもあり、市が必要と判断して独自に交付するものもある。支援すべきと判断すれば、団体の運営費全体を補助するものもあるし、事業費の一部を補助するものもある。</p> <p>一般的には、補助金は団体の事業に対する支援、交付金は、市が実施すべき内容を団体に委託するもので、団体に任せることでより大きな効果が得られることや、公益的な事業・団体に支出するという点では同じである。</p>
議 長	<p>補助金と交付金の定義づけは難しいが、今回の会議ではどちらも含めて内容を説明しており、すべてを見直しの対象としたい。</p> <p style="margin-left: 40px;">3 見直しの視点等について</p> <p style="margin-left: 40px;">4 今後の検討について</p>
作業部会員	<p>今後、どのようなものを対象に、どのような視点で見直しを行うかについて、資料1に記載している。</p> <p>「対象が不特定多数の市民や団体へ支出する補助金」と「対象が特定の団体や固定化された団体へ支出する補助金」のうち、を見直し対象とし、資料中 a ~ f の案のような視点によって、公平性・公益性を検証したい。</p> <p>また、今後は、補助金の検証・審査のための基準作成に向けて、検討を進めていきたい。</p>
外部委員	<p>市の補助金は184項目あるということだが、全ての補助金を個々に検証するのは時間的にも難しいと思われる。</p> <p>これらの補助金を、国・府の基準に基づくものと市独自のものに分類し、前者については検証を割愛しても良いのではないか。</p> <p>また、市が補助を行うことが妥当かどうかを我々が判断するのは難しい。そこで、判断材料として、周辺他市の実施状況や補助内容が知りたい。</p> <p>さらに、各補助金の金額を見ると、かなりのばらつきがある。例えば、「1,000万円以上」「1,000万円～100万円」「100万円以下」等に分類し、金額順に並べた形で見てみたい。</p> <p>なお、それぞれの補助金ができただけの時期の分類や、支出額の推移も知りたい。長く続けてきたためにやめにくい補助金、彩都の関連で近年にできた補助金などがあり、絞り込む必要があると思う。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
作業部会	各所属に照会した際に、国・府の基準や他市の状況、過去5年間の決算額推移などのデータを収集している。ご指摘の点を踏まえ、テーマを絞って一覧表を整理し、分かりやすい資料を作成する。
議 長	<p>今回は各補助金の説明をしたが、次回以降、これらの分類・見直し作業に入っていく。見直しの視点についても、さらに具体的な案を提示したいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>